

埼玉県高体連ハンドボール専門部公式大会申し合わせ事項

- 1 申し合わせ事項に記載されている各大会とは下記の三大会とする。**
 - (1) 高等学校関東大会第二次県予選会（関東二次予選）
 - (2) 学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会県予選会（インターハイ予選）
 - (3) 県民総合体育大会兼新人県大会兼関東大会第一次県予選会（新人戦）
- 2 各大会の参加資格は下記のとおりとする。ただし、合同チームによる参加については、別途定める規定による。**
 - (1) 関東二次予選：日本ハンドボール協会に登録した全チーム。
 - (2) インターハイ予選：日本ハンドボール協会に登録した全チーム。
 - (3) 新人戦：各地区予選を通過した男子 32、女子 28 チーム。ただし、事前に棄権するチームが出た場合は次の方法で補充する。
 - ・ 棄権するチームの所属する地区で補充する。補充方法は各地区に任せる。
 - ・ 当該地区で補充できない場合は競技委員会を招集し、協議して決定する。
 - ・ その他の場合は、競技委員会を招集し、協議して決定する。
- 3 各大会の参加申し込みは、埼玉県ハンドボール協会 HP を参照の上、e-mail により行い、職印を押した申込用紙を代表者会議の際に提出する。**

申し込みは締切日を厳守のこと。参加申し込みに関する問い合わせは下記とする。
高体連ハンドボール専門部競技委員長 和久長義 吉川美南高等学校 TEL070-5546-3674
- 4 各大会代表者会議兼開会式には、顧問一名が必ず出席すること。**

連絡なく欠席した場合、その大会は不参加とみなす。欠席の場合の連絡先は下記とする。
高体連ハンドボール専門部委員長 井川 修 上尾鷹の台高等学校 TEL070-6433-3674
- 5 各大会参加申し込みしたチームは理由なく棄権しないこと。**

連絡なく棄権したチームには、競技委員会にて協議のうえペナルティを科す場合がある。ペナルティは原則として、次の大会の出場を停止する処分とする。
- 6 各大会は必ず顧問が責任をもって引率すること。**

試合当日引率できなくなった顧問は必ず代行の教員に引率させること。
試合開始時刻から 5 分経過しても顧問がベンチにいない場合、当該試合を没収試合として対戦相手チームの不戦勝とする。ただし、試合当日に顧問に緊急事態が発生し、大会本部に試合時間に遅れるとの連絡があった場合は、緊急に競技委員会を招集し、協議して参加の是非を諮る。
- 7 各大会の使用球は、ニューボール（日本協会もしくは埼玉県協会の公認球）とし、当該チームが互いに持ち寄る。**

大会使用球は大会最初の試合で審判のサインを受け、大会期間中使用される。
- 8 各大会出場人数は下記のとおりとする。**
 - (1) フルトーナメントの場合
 - ・ Best8 決定まで 20 名、準々決勝から 15 名
 - (2) 予選トーナメント・代表決定トーナメントの場合
 - ・ 予選トーナメント 20 名、代表決定トーナメント以上 15 名
 - (3) 予選トーナメント・決勝リーグの場合
 - ・ 予選トーナメント 20 名、決勝リーグ 15 名
 - (4) 予選トーナメント・準決勝リーグ・決勝・順位決定戦の場合
 - ・ 予選トーナメント 20 名、準決勝リーグ以上 15 名
 - (5) 新人地区大会については、各地区独自で決める。